

# 遠賀町内中小企業景況調査

(令和6年1月-3月期)

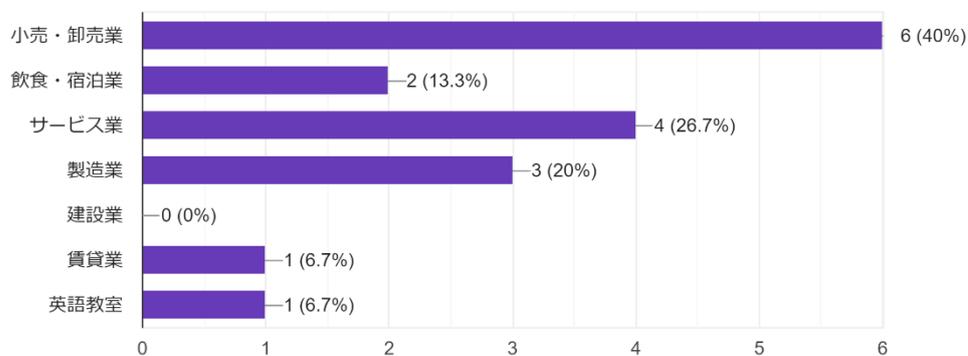
調査：遠賀町商工会

## 〔調査要領〕

- ①調査方法 遠賀町商工会 LINE 公式アカウントによる WEB 回答
- ②調査対象 遠賀町商工会会員事業所
- ③調査時点 令和6年4月1日

### 1. 貴事業所の業種を教えてください

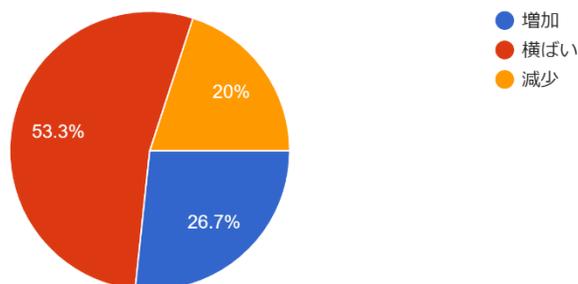
15件の回答



今回のアンケートの回答は、約7割が商業・サービス業で占められており、残りが製造業2割、その他が約1割という構成になっている。

### 2. 現在の貴事業所の売上傾向についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

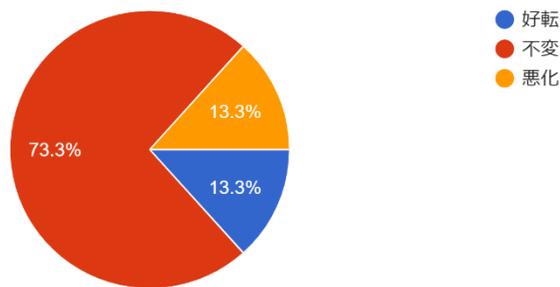
15件の回答



売上傾向については、減少と横ばいで4分の3を占めているが、これはコロナ禍が収束した後も、エネルギー価格等の高騰に加えて実質賃金の伸びが物価上昇に追いつかない状況が続いていることから、消費マインドの改善が見られないことの表れと思われる。

3. 現在の貴事業所の利益状況（所得）について...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

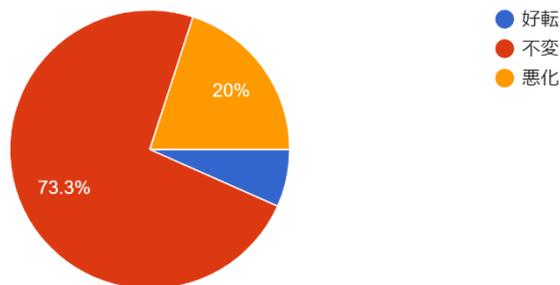
15件の回答



利益の状況については売上の現状に比して更に厳しい傾向が見て取れ、その要因は、依然として物価高騰の影響が続いていることによるものと考えられる。

4. 現在の貴事業所の資金繰りの状況についてお...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

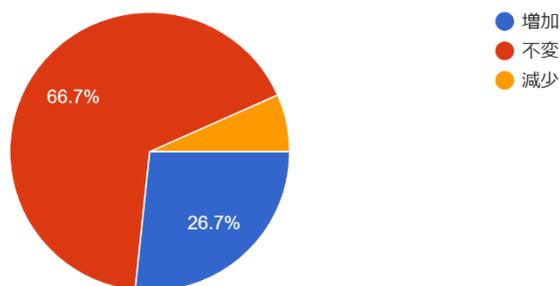
15件の回答



資金繰りについては、価格転嫁が進まない中で、物価高騰の影響は続いており、それが原価や経費の上昇につながっていることが好転に向かわない原因と思われる。この状況が続けば、借入金の返済ができなくてリスクを余儀なくされる企業が増加することが懸念される。

5. 現在の従業員数についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

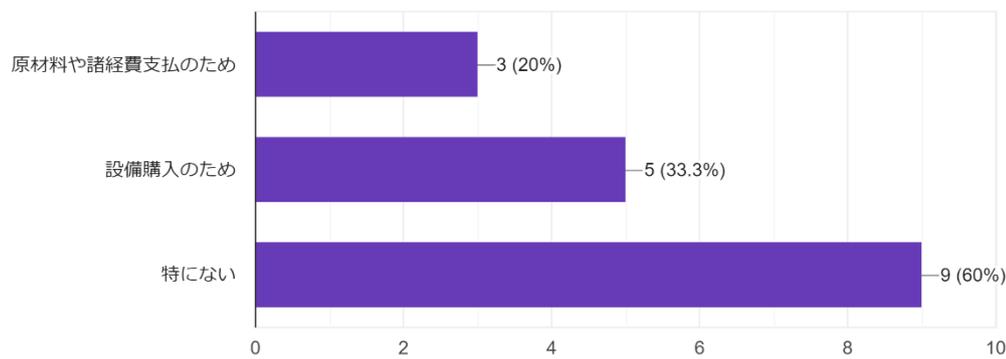
15件の回答



従業員数は、全体の約4分の3が前年同期と比較して減少または不変と回答しており、構造的な人手不足の解消には至っていない現状が見て取れる。現在の人員で事業を継続するためには労働生産性の向上が必須であり、生成AIの活用なども含めた対策が急がれるとことである。

### 5. 現在、資金調達をする必要はありますか（複数回答可）

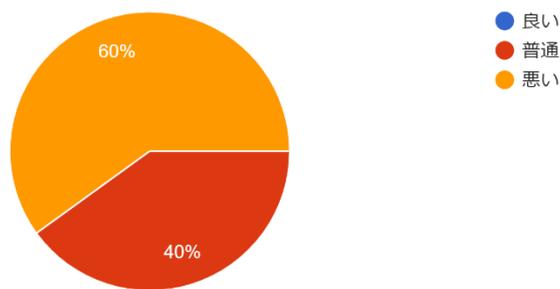
15件の回答



新たな資金調達については、必要性を感じていない企業が全体の6割を占めている。無駄な経費の削減はもちろん必要であるが、設備資金への需要も減少しており、事業拡張への意欲そのものが減退していることが懸念される。

### 6. 景況感について教えてください現在の景気をどう感じますか

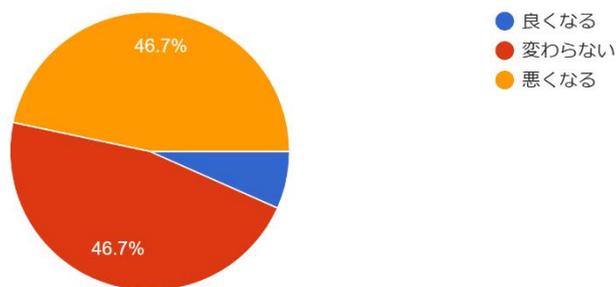
15件の回答



景気は、コロナ禍の収束により一時的には回復傾向が見られたものの、その後は円安や物価高騰の影響も相まってやや「悪化」の傾向が続いている。大企業が業績を回復している一方で、中小企業が苦しんでいる現状に鑑みれば、国や県の中小・小規模企業への一定の支援が求められるところである。

### 7. 景況感について教えてください今後の景気の見通しをどう予測しますか

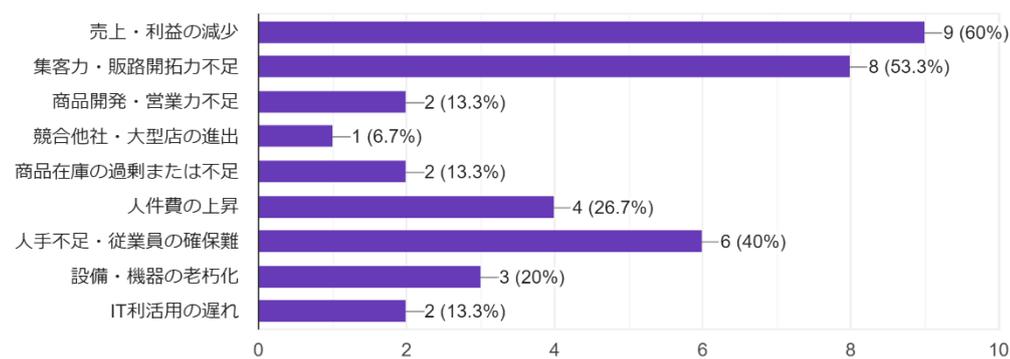
15件の回答



今後景気が良くなると回答した企業は1割にも満たず、約半数がさらに悪くなると予想している。これも実質賃金が上がらないことによる消費マインドの冷え込みが負のスパイラルから抜け出せないことが大きな原因と思われる。

8. 現在の貴事業所において、次の問題点・課題の中に該当するものがありますか（複数回答可）

15件の回答



課題として、「売上・利益の減少」「集客力・販路開拓力不足」が半数を超えている。この傾向が続けば、事業継続が困難になる企業が増えることが予想されるので、改めて国や県には、中小・小規模企業を下支えする融資・補助金・税制面での支援策の拡充を求めたい。